

平成29年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分+介護分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの

事業名	事業の区分	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
1 ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤整備事業	①	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関、市町	三重医療安心ネットワークの参加施設数243か所(H28.3)を291か所(H30.3)にする。	平成29年度末で、三重医療安心ネットワークの参加施設数は279か所となった。	△	新たに開示病院が整備された地域を中心に、閲覧施設の増加に努めたい。
2 がん診療体制整備事業	①	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関、緩和ケアネットワーク	県内のがん診療に関わる施設・設備の整備を行う医療機関を3か所以上(平成29年度)確保する。	平成29年度は、県内のがん診療に関わる施設・設備の整備を4ヶ所の医療機関で実施した。	○	
3 回復期病棟整備等事業	①	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関	・補助を活用し病床転換に取り組む施設数4か所を確保する。 ・研修会参加者人数100名以上を確保する。	・平成29年度は2か所の医療機関が当事業による病床転換に係る整備を行った。 ・研修会参加者人数は101名であった。	×	引き続き補助事業を活用していただけるよう働きかけを行っていききたい。
4 地域医療構想の達成に向けた回復期病床転換支援事業	①	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	回復期への円滑な病床転換につなげるため、回復期医療(リハビリテーション等)や在宅医療など地域包括ケアを担う医師を20人育成支援する。	回復期医療(リハビリテーション等)や在宅医療など地域包括ケアを担う医師を42人育成支援した。	○	
5 在宅医療体制整備推進事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	郡市医師会等	補助事業を活用し在宅医療体制の整備に取り組んだ医師会数4か所(平成28年度実績)を5か所にする。	在宅医療体制の整備に取り組む4医師会に補助を行った。	×	引き続き補助事業を活用していただけるよう働きかけを行っていききたい。
6 医療的ケアを必要とする障がい児・者の支援拠点構築事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(障害福祉サービス事業所等運営法人委託)等	・医療的ケアを必要とする障がい児・者の在宅生活における支援の拠点となる施設数(現状値1か所)を2か所にする。 ・医療的ケアを必要とする障がい児・者の緊急時の受入に対応するための施設数(現状値11か所)を12か所にする。	医療的ケアを必要とする障がい児・者の在宅生活における支援の拠点となる施設数:2か所 医療的ケアを必要とする障がい児・者の緊急時の受入に対応するための施設数:15か所	○	
7 小児等在宅医療連携拠点事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	市町	医療的ケアが必要な小児が在宅で安心して生活ができるよう支援体制を整備するための多職種による検討会等を開催するなど、地域における連携体制の構築に取り組む市町数を5か所以上にする。	1市において、多職種連携により小児在宅支援ガイドブックを作成し、地域における医療的ケア児にかかる支援体制の整備を行った。	×	平成30年度は補助対象を県内の病院まで広げて実施する予定。
8 小児在宅医療・福祉連携事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重大学医学部附属病院	小児在宅医療に係る研究会及び医療・福祉・教育関係施設に従事する看護師を対象とした研修会の参加数述べ300人以上を確保する。	小児在宅研究会、小児在宅看護研修を実施し、述べ457人の参加を得た。	○	
9 三重県在宅医療推進懇話会の運営	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	懇話会の開催回数2回以上を確保する。	懇話会を4回開催した。	○	
10 地域のネットワーク機能体制強化事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	地域毎におけるネットワーク会議・研修会の開催回数1回以上を確保する。	地域毎におけるネットワーク会議・研修会を各1回以上開催した。	○	
11 在宅医療普及啓発事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(郡市医師会委託)	各構想区域で一回以上の普及啓発事業を実施する。	各構想区域での普及啓発事業に1回以上取り組んだ。	○	
12 かかりつけ医機能推進事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県医師会委託)	各研修会の参加者数延べ300人以上を確保する。	医療ソーシャルワーカー地域連携強化研修、報告会、医療介護連携コーディネーター研修への参加者数:367名を得た。	○	
13 在宅医療推進のための看護師研修事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県看護協会委託)	訪問看護事業所および医療機関の看護師を対象に研修会を実施し、研修参加者50人以上を確保する。	アウトプット指標:研修会参加者数 50人以上⇒57人 アウトカム指標:在宅死亡割合22.2%(H29年実績)⇒実績20.9%	△	在宅死亡割合は目標値に至らなかったが、研修会参加者は目標を達成した。
14 訪問看護人材確保事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県看護協会委託)	県内各地区在宅介護関係機関への訪問看護の説明会を20か所以上開催する。	交流会、市町協働のフォーラムで13地区で開催しているが、フォーラムは58回開催した。	△	実施箇所は目標に達成しなかったが、各地区支部で多職種への周知活動を行った。
15 認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重大学医学部附属病院、県医師会	「脳の健康みえる手帳」紹介先医療機関数を50とする(平成30年度)	脳の健康みえる手帳の紹介先医療機関数は46施設となった。	△	平成28年度46施設→平成29年度46施設 紹介先要件に当てはまる県内の医療機関についてはほぼ網羅しているが、新規の医療機関等については今後も引き続き掲載の働きかけを行う。
16 精神障がい者アウトリーチ体制構築事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県内医療機関委託)	平成29年度は各チームで開催する連携会議に参画する関係機関(地域包括支援センター等)を1箇所以上増やす。	北部ブロック・中南部ブロックに各チームにおいて、連携会議に参画する関係機関が2か所ずつ(計4か所)増やすことができた。	○	

平成29年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分+介護分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの

事業名	事業の区分	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
17 在宅歯科医療連携室整備事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県歯科医師会・三重大学医学部附属病院委託)	研修会受講者数184人(H29.3)を190人(H30.3)にする。	平成29年度における医科歯科連携推進人材育成研修会に2回で延べ178人が受講した。	×	研修会のテーマ等により参加者の増減があった。参加者のニーズもふまえつつ必要に応じた研修企画を行っていく。
18 地域口腔ケアステーション機能充実事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県歯科医師会・県歯科衛生士会・三重大学委託)、郡市歯科医師会	地域口腔ケアステーション数7か所(H28.1)を9か所(H30.3)にする。	地域口腔ケアステーション数は8か所(H30.3)に設置された。	△	地域の実情をふまえつつ、地域口腔ケアステーションの拡大及び機能充実に向けて歯科医師会へも働きかけを行っていく。
19 居宅療養管理指導等に取り組む薬局研修事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	四日市薬剤師会	平成29年度の在宅薬剤訪問管理指導未経験薬剤師の実地研修履修者数を10人以上にする。	訪問薬剤管理指導について経験のある薬剤師が研修を行い、研修履修者数が26人となった。	○	
20 移動型調剤研修施設(モバイルファーマシー)整備事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県薬剤師会	移動型調剤研修施設(モバイルファーマシー)を1台整備する。	移動型調剤研修施設(モバイルファーマシー)を1台整備した。	○	
21 コミュニケーション支援事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(一部NPO法人委託)	難病医療拠点病院3施設及び協力病院19施設のうち、平成29年度中に5か所において、コミュニケーション支援体制の整備を行う。	難病医療拠点病院3施設及び協力病院19施設のうち、平成29年度中に5か所において、コミュニケーション支援体制の整備を行った。	○	
22 意思伝達装置使用サポート事業	②	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(NPO法人委託)	言語機能が著しく低下、または喪失した方の自宅等を訪問する件数を平成29年度に年間40回確保する。	言語機能が著しく低下、または喪失した方の自宅等を訪問する件数を平成29年度に年間40回確保し、35回実施した。	△	訪問件数は年間40回確保したが、医師、看護師等からの相談に応じた訪問は35回の実施であった。要請等があった場合に支援を行っているが、タイムリーな支援が行っていきけるようにしていきたい。
23 地域医療支援センター運営事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	派遣・幹旋する医師数243人(平成28年度)を275人(平成29年度)にする。キャリア形成プログラムの作成数17(平成28年度)を18(平成29年度)にする。地域卒業医師数に対するキャリア形成プログラム参加医師数の割合21.0%(平成28年度)を21.5%(平成29年度)にする。	・派遣・幹旋する医師数は305名(平成29年度)となった。 ・地域卒業医師数(卒後3年目)のうち、キャリア形成プログラム参加割合は23.3%(平成29年度)となった。 ・キャリア形成プログラムの作成数は17であった。	△	新専門医制度における19基本領域のうち、17についてキャリア形成プログラムを策定している。残り2つ(形成・リハビリ)については、需要が少なく(H30はゼロ)、また形成外科については専門研修プログラムの策定が数年先となる見込みである。このため、大学等と協議しつつキャリア形成プログラムの策定について検討を進めていく。なお、当面は希望があった場合は個別に支援していく体制としている。
24 地域医療支援センター運営事業(三重県医師修学資金貸与と制度)	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	貸付者総数587人(平成28年度)を641人(平成29年度)にする。	貸付者総数587人(平成28年度)が642人(平成29年度)となった。	○	
25 医師派遣等推進事業(バディホスピタル派遣時補助)	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	伊勢赤十字病院	バディホスピタル派遣を利用した医師派遣数を6名以上にする。バディホスピタル派遣の実施月数12か月を維持する。	バディホスピタル派遣を利用した、平成29年度の医師派遣数実績は7名、派遣実施月数は12ヶ月となった。	○	
26 初期研修医定着支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	MMC卒業臨床研修センター	県内の病院で初期臨床研修を受ける医師のマッチング数を平成29年度実績で125人にする。(平成28年度実績105人)	マッチング結果は115人で、目標数には達しなかったものの、昨年度を上回り、過去最多となった。	△	・過去最多となり、今後も更なる研修内容の充実とPRを図っていく。 ・今後は各病院の採用数で計っていききたい。 ・研修限度数に達する病院も出てきているので、それを踏まえた目標値を設定していく。
27 地域医療対策部会の調整経費	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	地域医療対策部会の開催回数2回以上を確保する。	平成29年度は地域医療対策部会を3回開催した。	○	
28 産科医等確保支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関	平成29年度の産科医等の分娩取扱件数を13,500件以上にする。	平成29年度、本事業の支援により、32医療機関に対する支援を行い、支援した医療機関の累計で12,367件の分娩件数となった。	△	目標の未達成については、分娩件数の減によるもの。県内の分娩機能を持つ医療機関全般を補助対象にしているが、一部の医療機関から申請がないため補助制度の周知により、目標達成を目指す。
29 産科医等育成支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関	産科専攻医への処遇改善支援医療機関数を1か所以上にする。	産科専攻医への処遇改善支援する医療機関を1か所以上にした。	○	
30 新生児医療担当医確保支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関	対象となる新生児医療業務件数を平成29年度、460件以上にする。	本事業により、2医療機関に対し支援を行い、支援を受けた医療機関の平成29年度の新生児医療業務件数は441件となった。	△	NICUを有する補助対象医療機関への補助はできており補助対象業務の減によるものである。

平成29年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分+介護分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの

事業名	事業の区分	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
31 救急医療人材確保支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	二次救急医療機関	非常勤医師を確保し、病院群輪番制等により救急対応した二次救急医療機関の対応延べ日数1,702日(H27)を1,800日(H29)にする。	非常勤医師を確保し、病院群輪番制等により救急対応した二次救急医療機関の対応延べ日数は1,727日(救急1,434+小児293)であった。	△	引き続き二次救急医療機関の救急対応日数が増えるよう働きかけを行っていきたい。
32 医師不足地域の医療機関への医師派遣体制構築事業	④	伊賀地域	市町又は二次医療救急機関	常勤を含む2人以上の医師の派遣を受ける。(平成29年度)	常勤医師1名、非常勤医師4名の派遣を受け入れた。	○	
33 三重県プライマリ・ケアセンター整備事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重大学医学部附属病院委託)	医学生・看護学生をはじめとした医療従事者等をめざす学生(30人/年)および県内で勤務する医療従事者等(5人/年)の教育・育成を実施する。	学生の教育・育成 99人 医療従事者等の教育・育成 0人	△	エキスパートナース育成プログラムが平成30年6月に完成したことで、平成30年度中に育成プログラム修了者5人を見込んでいる。 なお、平成29年度に医療従事者等に対して研修会等を7回開催し、計573人の参加があった。
34 新専門医研修における総合診療医の広域育成拠点整備事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重大学医学部附属病院	育成拠点施設を利用する総合診療医(専攻医)を新規拠点あたり2人以上確保する。(平成29年度)	育成拠点施設を利用する研修医・指導医の研修参加支援を実施した。また育成拠点施設のテレビ会議システムのソフトウェアの整備を行った。	△	これまで整備してきたテレビ会議システムを拡張していくにあたり、ソフトウェアの更新が必要となり、これを優先したため新規拠点整備を見送った。引続き、拠点の環境整備を進めていきたい。
35 小児救急地域医師研修事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	市町	小児初期救急医療研修を受講した医師数(平成27年度実績:160人)を170人(平成29年度実績)にする。	小児初期救急医療研修を3地域で3日実施し、101人が受講した。	×	開催地域数はH28年度と同様であったが、開催回数が増えたため受講者数の減少となった。
36 女性医師等就労支援事業(子育て医師等復帰支援事業)	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関	子育て医師等の復帰支援に取り組む医療機関数を7か所以上にする。	子育て医師等の復帰支援に取り組む医療機関数は7か所であった。	○	
37 歯科技工士確保対策・資質向上事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(一部県歯科技工士会委託)	県内歯科技工所を対象とした歯科技工技術安全研修を年間10回開催し、新規就業者も含めた受講者数の増加をはかる。	歯科技工技術安全研修を10回開催し、述べ359人が受講した。	○	
38 新人看護職員研修事業補助金	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関	新人看護職員研修補助により、年間600人以上の参加者数を確保する。	新人看護職員研修補助により、年間574人の参加者数を確保した。	△	新人看護職員研修を行う医療機関に補助を実施したことにより、概ね目標を達成した。
39 新人看護職員研修事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県看護協会・県立看護大学委託)	多施設合同研修に参加した(延べ)人数1,064人以上を確保する。	多施設合同研修に参加した人数は(延べ)965人であった。	△	自施設で研修システムが構築されたことにより、参加者が減少したと考えられるため、目標設定の見直す。
40 保健師助産師看護師実習指導者講習会事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県看護協会委託)	実習指導者講習会の受講者数60人以上を確保する。 特定分野における実習指導者講習会の受講者数20人以上を確保する。	実習指導者講習会の受講者数は71人であった。 特定分野における実習指導者講習会の受講者数は9人であった。	△	特定分野における実習指導者講習会の受講者確保が困難であり、平成30年度は開催頻度を隔年に変更する予定。
41 がん医療水準均てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重大学医学部附属病院委託)	研修受講者数9人以上を確保する。(平成29年度)	アウトプット指標:研修受講者9人⇒実績7人 アウトカム指標:県内の各拠点・準拠点(10箇所)にがん専門看護師1人確保[H35年度まで]⇒5病院7人[H29.9現在]	△	当初、8名の受講者であったが、途中受講者の自己都合により、受講継続が困難となり、結果7名となった。引き続き受講促進を働き掛けたい。
42 潜在看護職員復職研修事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県看護協会委託)	潜在看護職員を対象とした研修会を3地域で開催し、研修参加者数30人以上を確保する。	アウトプット指標:3会場開催、受講者30人以上⇒実績3会場開催、受講者22人 アウトカム指標:研修受講者の再就業率60%以上⇒59.1%	×	周知方法等を見直し、受講促進に努めたい。H30年度はラジオ放送で研修概要を照会するなどの取組を予定している。
43 助産師活用推進事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県立看護大学委託)	中堅者・指導者研修受講者数30人程度を確保する。	受講者数は31人であった。	○	
44 助産実践能力向上研修事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県産婦人科医学会委託)	研修参加者数200人以上を確保する。(平成29年度)	研修参加者数127人(助産師58人、看護師30人、医師24人、学生10人、県職員4人)	×	H28年度も未達成であり、事業の周知方法及び開催日程等を見直していききたい。
45 看護教員継続研修事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県立看護大学委託)	看護教員継続研修参加者数延べ100名以上を確保する。	研修会を4回開催し、参加者数は延べ224人であった。	○	
46 CNA(認定看護管理者)フォローアップ事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県看護協会委託)	CNA(認定看護管理者)フォローアップ研修会参加者数延べ100人以上を確保する。(平成29年度)	アウトプット指標:研修参加者100人以上⇒174人 アウトカム指標:県内看護職員数 22,560人⇒実績 22,456人	○	

平成29年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分+介護分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの

事業名	事業の区分	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
47 看護職員キャリアアップ支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関	認知症認定看護師教育課程等の受講者15人以上に補助を行う。	補助申請が当初の見込みを下回った。	△	病院が受講費用を負担したのに対して補助を行う制度としているが、補助条件に合わない事業の執行が複数病院にみられたため、補助対象とならなかった。 今後は、この点をあらかじめ周知し、補助事業が活用できるよう啓発していく。
48 看護職のリーダー養成事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	海外短期研修に6人以上派遣する。	アウトプット指標:海外派遣 6人以上⇒5人 アウトカム指標:県内看護職員数 22,560人⇒実績 22,456人	×	研修受け入れ施設より、受講生に高い英語力を求められていることから、受講者が限定されていた。H30年度より英語力の条件を撤廃、また研修期間を短くし、受講促進を働きかける。
49 看護職のWLB推進事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県看護協会委託)	勤務環境改善に取り組む医療機関を対象に、アドバイザーが年4回以上直接相談を行う。	アドバイザーを5施設に派遣した。	○	
50 看護師等養成所運営費補助金	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	看護師等養成所	看護師等養成所12施設に補助を行う。	看護師等養成所12施設に対して運営に必要な経費補助を行った。	○	
51 看護師等養成所実習施設確保推進事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関	母性看護および小児看護、助産の実習受入施設数11か所以上を確保する。	母性および小児看護実習受入医療機関は8か所、助産実習受入医療機関は4か所であった。	○	
52 看護職員確保拠点強化事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県看護協会委託)	免許保持者届出制度登録者数(ナースバンク登録者含む)1,000人以上を確保する。	免許保持者届出制度登録者数は358人であった。	×	免許保持者届出制度について、事業委託先である県看護協会や各保健所を通じて制度周知を行ったが、目標達成に至らなかった。今後はより一層の制度周知に努める。
53 病院・薬局における薬剤師の確保支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県薬剤師会	平成29年度の未就業・他業種からの転職薬剤師のための支援研修会の参加者数15人以上を確保する。	未就業・他業種からの転職薬剤師のための支援研修会の参加者数は22名となった。	○	
54 医療勤務環境改善支援センター事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県医師会委託)	センターの支援により勤務環境改善計画を策定する医療機関数1か所以上を確保する。	勤務環境改善計画を策定する医療機関数は0か所であった。	×	18医療機関に対して医療勤務環境マネジメントシステムの導入・定着支援を行ったものの、いずれの医療機関も勤務環境改善計画の策定までには至らなかった。引き続き医療機関への支援を継続することで、計画策定につなげる。
55 病院内保育所運営支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関	病院内保育所の運営を通じて、看護職員等医療従事者の離職防止等に取り組む医療機関数26か所以上を確保する。	24医療機関に対して補助を行うとともに、24時間保育を行う9施設、病児等保育を行う1施設、児童保育を行う2施設、休日保育を行う12施設に対して加算補助を行った。	△	補助対象医療機関の見直しを行い、事業目標を達成させる。
56 救急患者搬送にかかる情報共有システム支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	NPO法人三重緊急医療情報管理機構	ICTを活用した救急患者搬送情報共有システムを運用する時間を24時間にする。	救急患者搬送情報共有システムを運用する時間を24時間にする目標を達成しました(一部地域を除く)	○	
57 小児救急医療支援事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	二次救急医療機関	常勤医師を確保し、病院群輪番制等により小児救急に対応した二次救急医療機関の対応延べ日数1,214日(平成27年度実績)を平成29年度も引き続き確保する。	常勤医師を確保し、病院群輪番制等により1,027日小児救急に対応した。	×	引き続き二次救急医療機関の小児救急対応日数が増えるよう働きかけを行ってきたい。
58 小児救急医療拠点病院運営補助金	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重病院	小児救急診療体制3人(医師1人、その他2人)(平成27年度実績)を平成29年度も引き続き確保する。	小児救急診療体制3人(医師1人、その他2人)を確保した。	○	
59 小児救急電話相談事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(委託)	電話相談件数を9,914件以上にする。	電話相談件数は8,889件であった。	×	啓発により小児救急電話相談の周知を図ってきたい。
60 チーム医療推進のための多職種対象吸引フォローアップ研修事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県理学療法士会	・研修を1回実施し、参加者数60人以上を確保する。 ・吸引シミュレーターを10回貸出する。	・研修については、1回の実施で参加者数は41人であった。 ・吸引シミュレーターの貸出回数については8回であった。	×	事業実施者による実施内容が当初の見込みを下回ったため。
61 医療安全の確保による勤務環境整備事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内医療機関、三重県(県医師会委託)	補助金を活用して医療安全対策に取り組む医療機関数4施設/年を確保する。	平成29年度は医療機関1施設が補助金を活用して医療安全対策を通じた医療従事者確保に取り組んだ。	△	広く周知を行い、意欲的な問合せは複数件あったものの、平成29年度は実際に施設整備に着手した医療機関が少なかった。引き続き、医療安全を通じた医療従事者確保の重要性の周知に努める。
62 看護師等修学資金貸与事業	④	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	看護系大学在学学生10人に対し、新規貸与を行う。	看護系大学在学学生11人に対し、新規貸与を行った。	○	

平成29年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分+介護分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの

事業名	事業の区分	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
63 三重県介護サービス施設・設備整備推進事業費	③	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域		別添資料のとおり	別添資料のとおり	△	選定会議等により、確実に整備できる施設等の把握に努めるよう、市町に周知する。
64 介護人材確保対策連携強化事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	介護人材確保対策連携強化のための協議会を3回程度開催する。	平成29年度は、介護従事者の確保・定着に関する取組を検討する協議会を4回開催した。	○	
65 福祉・介護の魅力発信事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	県内の中学校・高等学校への訪問40校程度、セミナーの開催30回(2000名受講)程度実施する。	県内の中学校・高等学校33校へ訪問し、セミナーの開催28回、1838人が受講した。	△	調整不足や悪天候により開催できないセミナーがあるなど、目標は達成できなかった。準備段階から緊密な連携をとっていく必要がある。
66 シニア世代介護職場就労支援事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	研修を5回開催し、受講者を100名以上とする。研修参加者のうち就職者数15名以上とする。	研修を5回開催し、61人が受講した。また、23名が就職へつながった。	△	受講者数は目標に届かなかったが、就職者数は目標値を上回った。
67 介護職員初任者研修資格取得支援事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	介護職員初任者研修を4回開催し、受講者を140名とする。研修参加者のうち就職者数100名とする。	研修を4回開催し、107人が受講した。また、76名が就職へつながった。	△	受講希望者が落ち込んでおり、同時期の他の研修との競合もあり、目標達成はならなかった。研修内容や対象を精査していく。
68 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の養成施設、職能団体、介護事業所、事業者団体等	イベント・セミナー等を16回開催し、参加者を1600名とする。	平成29年度は、61回のイベント等を支援し、参加者数は合計4,309人であった。	○	
69 高齢者「介護助手」育成事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	説明会への参加者を200名とする。(平成29年度)	240名が参加した。	○	
70 老健看護の魅力とやりがい研修事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	研修を6回開催し、参加者を120名とする。	研修会を5回開催し、159名が受講した	△	研修会場は1減であったが、目標以上の参加者であった。アンケート結果でも研修の効果が得られたので、引き続き実施。
71 職場体験事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	職場体験日数を852日程度とし、参加者を426名程度とする。	体験日数述べ484日、参加者225名であった。	△	中高生の体験希望者を別事業で対応するなどした結果、目標値に達しなかった。更に意義のある体験となるよう見直していく。
72 地域シニアリーダー育成研修事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	研修参加団体数 18団体	研修登録団体 23団体	○	
73 住民主体の自助・互助力を高める体操指導士養成事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	養成研修を1回開催し、受講者を20名とする。フォローアップ研修を1回開催し、受講者を20名とする。	養成研修受講者 36名 フォローアップ研修受講者 20名	○	
74 介護未経験者に対する研修支援事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の市町	介護職員初任者研修等の受講者数を30名とする。	初任段階の介護職員6名の介護職員初任者研修受講に対して支援を行った。	×	予定より受講者数が少なかった。
75 福祉・介護人材マッチング支援事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	就職者数250名程度とする。	キャリア支援専門員の支援により介護分野に254名が就職した。	○	
76 高齢者「介護助手」就労マッチング事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	介護分野への就職者数を60名/年とする。	48名が就職した。	△	目標達成できなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施。
77 小規模事業所等人材育成支援事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	人材の育成・定着等、専門的な助言・指導を行うアドバイザーを13回以上派遣する。 介護技術の向上等に関する研修講師を50回以上派遣する。	アドバイザーを12事業所に、研修講師を103回派遣した。	△	概ね目標を達成した。
78 社会福祉研修センター事業費補助金	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県社会福祉協議会	研修を2回開催し、受講者を160名とする。	平成29年度は、研修を2回開催し、受講者数は114名であった。	△	受講者数は目標に届かなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施。
79 介護サービス提供事業者資質向上事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体、職能団体	研修を55回開催する。	研修を63回開催した。(研修受講者数:4,277名)	○	

平成29年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分+介護分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの

事業名	事業の区分	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
80 喀痰吸引等研修事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	喀痰吸引等の研修(1号・2号研修)を受ける介護職員等の指導や評価のできる指導者の養成を100名/年とするために、指導者養成研修を2回(50名×2回)開催する。 喀痰吸引等を行うことができる介護職員の養成を90名/年とするため、3号喀痰吸引等研修を1回(90名)開催する。	平成29年度は、指導者研修(1号・2号研修)を71名が修了するとともに、喀痰吸引等を行うことができる介護職員(3号研修の基本研修修了者)を30名養成した。	△	目標には届かなかったが、喀痰吸引等研修に対するニーズはあるため、引き続き実施。
81 介護職員キャリアアップ研修支援事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体、養成施設、介護事業所等	キャリアアップ研修を26回実施し、受講者を420名とする。 キャリアアップのための研修受講料を150名に補助する。	キャリアアップ研修を22回実施し、受講者は542名であった。 研修受講料の補助を136名に行った。	△	概ね目標を達成した。
82 総合事業における口腔機能向上提供体制整備事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	歯科従事者対象口腔機能向上研修を2回開催し、受講者を延べ300名とする。	受講者数 延べ874名	○	
83 介護支援専門員スーパーバイザー派遣事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	主任介護支援専門員をスーパーバイザーとして派遣する事業所数を25事業所/年とする。	22事業所に、スーパーバイザーを派遣した。	△	目標達成できなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施。
84 各種研修にかかる代替要員の確保対策事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の介護事業所等	代替要員確保による研修受講件数を50件とする。	研修受講件数は57件であった。	○	
85 潜在的有資格者等再就業促進事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	研修を5回開催し、受講者を50名以上とする。 研修参加者のうち就職者数10名以上とする。	研修を5回開催し、47人が受講した。また、25名が就職へつながった。	△	概ね目標を達成した。
86 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(明慎福祉会、認知症介護研究・研修センター(東京・大府)、三重県医師会、三重県歯科医師会、三重県薬剤師会、国立長寿医療研究センター、三重県立看護大学に委託)	①かかりつけ医認知症対応力向上研修:2回60名受講 ②認知症サポート医養成研修:6回10名受講 ③認知症サポート医フォローアップ研修:6回240名受講 ④病院勤務の医療従事者及び看護職員認知症対応力向上研修:300名受 ⑤歯科医師認知症対応力向上研修:1回50名受講 ⑥薬剤師認知症対応力向上研修:2回200名受講 ⑦認知症初期集中支援チーム研修:3回51名受講 ⑧認知症地域支援推進員養成研修:3回44名受講 ⑨認知症対応型サービス事業管理者研修:2回120名受講 ⑩認知症対応型サービス事業開設者研修:1回30名受講 ⑪小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修:1回30名受講 ⑫認知症介護指導者フォローアップ研修:1名受講 ⑬認知症介護研修カリキュラム検討会:2回実施	①かかりつけ医認知症対応力向上研修を60名が受講し、修了者数は612名となった。 ②認知症サポート医養成研修を34名が受講し、修了者数は165名となった。 ③認知症サポート医フォローアップ研修を91名が受講し、修了者数は391名となった。 ④病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修を93名が受講し、修了者数432名となった。 ⑤歯科医師認知症対応力向上研修を1回実施し、38名受講 ⑥薬剤師認知症対応力向上研修を2回実施し、169名受講 ⑦認知症初期集中支援チームを3回実施し、40名受講。 ⑧認知症地域支援推進員養成研修を2回実施し、32名受講。 ⑨認知症対応型サービス事業管理者研修を2回実施し、65名が受講した。 ⑩認知症対応型サービス事業開設者研修を1回実施し、6名が受講した。 ⑪小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修を1回実施し、受講者数を21名が受講した。 ⑫認知症介護指導者養成研修の受講者は2名であった。 ⑬認知症介護研修カリキュラム検討会を年2回実施した。	△	一部目標に届かなかった。国の制度上、県が実施することとなっているため、引き続き実施。
87 地域ケア会議活動支援アドバイザー派遣事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	アドバイザー派遣(25回)をする。	アドバイザー派遣 34回	○	
88 生活支援コーディネーター養成研修事業	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県社会福祉協議会に委託)	全体研修1回開催し、受講者を50名とする。 フォローアップ研修1回開催し、受講者を50名とする。	全体研修受講者 75名 フォローアップ研修受講者 72名	○	
89 地域包括ケアシステム構築人材養成研修	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会に委託)、三重県社会福祉協議会、県内の職能団体	①研修4回開催し、受講者を265名とする。 ②研修1回開催し、受講者を40名とする。 ③研修2回開催し、受講者を100名とする。	①研修会を4回開催し、受講者数は延べ175名であった。 ②研修受講者数は36名であった。 ③後見申立支援研修の受講者は78名、親族後見人支援研修の受講者数は158名であった。	△	事業の一部については、目標値に届かなかった。
90 地域包括支援センター機能強化事業(リハビリテーション情報センター事業)	⑤	桑名地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	ホームページ閲覧数1,000 相談件数50件 人材バンク新規登録者数100名	ホームページ閲覧数 8,068(ユーザー) 相談件数 35件 人材バンク新規登録者数 42名	△	相談件数と人材バンク新規登録者は目標に届かなかった。ホームページ閲覧数については、同情報センターの活動が関係者に周知されつつあり、目標を大幅に上回る結果となった。

平成29年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分+介護分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの

事業名	事業の区分	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
91 三重県リハビリテーション情報センター人材育成研修事業	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	ベーシック編1回開催し、受講者60名とする。 アドバンス編1回開催し、受講者100名とする。	ベーシック編受講者 64名 アドバンス編受講者 95名	△	アドバンス編は目標に届かなかったが、ベーシック編の目標については達成した。
92 市民後見人等の支援に関する研修	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	市民後見人等の支援に関する研修を1回開催し、受講者90名とする。	市民後見人等の支援に関する研修を1回開催し、95名が受講した。	○	
93 権利擁護人材育成事業	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県社会福祉協議会、県内の市町、職能団体	研修を7回開催し、受講者を180名とする。	研修を5回開催し。受講者は61名であった。	△	目標達成できなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施。
94 リハビリテーション専門職を対象とした人材育成研修	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	地域の在宅療養者の摂食・嚥下研修1回開催し、受講者を80名とする。	研修参加者 34名	×	リハビリテーション専門職の摂食嚥下領域のスキルアップのため引き続き実施する。
95 新人介護職員に対するエルダー・メンター制度等導入支援事業	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	研修を1回開催し、受講者を50名とする。	研修を1回開催し。受講者は24名であった。	△	目標は達成できなかった。更に研修情報の周知や内容の精査を行う。
96 高齢者「介護助手」導入による介護職場の環境整備事業	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	介護分野への就職者を60名/年とする。	48名が就職した。	△	目標達成できなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施。
97 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体、介護事業所等	セミナーを6回開催し、参加者を180名とする。	管理者に対する研修会を6回開催し、383名が受講した。	○	
98 労務・雇用管理に関する訪問相談事業	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体、介護事業所等	専門家による訪問相談を10事業所に行う。	専門家による訪問相談を21事業所に行う。	○	
99 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業(介護ロボット導入支援事業)	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の介護事業所等	介護ロボット40台導入	6事業所に対して、19台の介護ロボットの導入支援を行った。	×	介護職場の負担軽減のため、必要な事業であることから計画期間を延長。事業所への周知を図る。
100 介護従事者の子育て支援のための施設内保育施設運営支援事業	⑤	桑員地域・三河地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の介護事業所等	2施設に補助	公募をかけたが応募がなかった。	×	応募がなく、活用されなかった。平成30年度は事業を実施しない。

○ 43
△ 40
× 17
計 100